

○廃業となった料亭を町の観光拠点として、宿泊施設兼レストランにリノベーション改築を行い、茂木版「アルベルゴ・リフーズ」をモデル実践

○長崎市が進めるDMO戦略に基づき、観光と連携するモデル地域として農業・漁業体験プログラムを整備

長崎県長崎市



【採 択 年 度】
令和元年度

【事業実施期間】
令和元～2年度



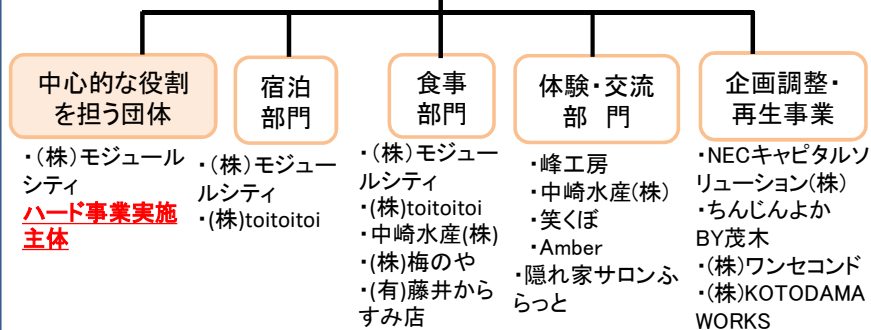
ハード改修施設
(改装前、外観)



ハード改修施設
(改装前、内部)

【実施体制】

茂木まちホテルツーリズム推進協議会 (事業実施主体)



連携 団体

(一社)長崎国際コンベンション協会、やったらうで高島、茂木コミュニティ連絡協議会、茂木漁業協同組合、茂木地区振興協議会、ペーロン保存会、茂木地区連合自治会、十八銀行茂木支店、(一社)ムラたび九州 等

【特徴的な取組】

○ 施設整備事業を活用し、廃業した料亭を1階は地元食材を活用したレストラン、2階は和室やドミトリーなど多様なタイプを備えた宿泊施設として整備

○ 生産者(農業者、漁業者)と一緒に、季節毎に「旬」な食材を使って「煮る」「焼く」「蒸す」などのメニュー開発・試食会



コンテンツ発案のための勉強会



福団子(ふぐのすり身)づくり体験

【取組内容】

○観光と農業・漁業連携プロジェクトの実施

・専門家のアドバイスを受けながら宿泊拠点で提供する地域食材を使った料理、スイーツなど開発(勉強会の実施、9品開発目標)



中崎水産ふぐコースセット

○「未来型さるく」プログラムの構築

・コース作りとコース検証



茂木地区さるくコース

○茂木版の分散化した宿(アルベルゴ・リフーズ)の在り方の検討

・資源活用できる空家調査
・茂木型モデルの検討会の開催
・地域住民合意形成のための勉強会の開催(ムラたびカレッジ3回実施)



スタンドグラス体験



コーヒー焙煎体験



菓子・野菜料理体験

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約